



「五感」

校長 柴 澤 明 子



学校裏の畑を見回りがてら歩いていた時、ある匂いを嗅いだ途端に、小さい頃の記憶が一気によみがえってきました。シロツメクサの匂いでした。これまでほとんど思い出すことがなかった“第一公園”で、クローバーの絨毯の上に私と「かこちゃん」は向かい合って座り、シロツメクサを編んでいました。

大鷲山の下で子どもたちとバッタを探していた時、草の匂いを嗅いだ瞬間、小さい頃に「順ちゃん」と“かまぼこ会館”の脇で、草をかき分けてバッタ捕りに夢中になっていたことを思い出しました。袋の中でショウリョウバッタが跳ねてパタパタと音がしていたことまで。

最近は何の名前も思い出せず何にでも「あれ」や「これ」と名付けて済ましているのに、忘れていた建物の名前も、友達の名前も、風景も色も音もはつきり思い出せるなんて、「匂い」の記憶とはすごいものだと感じました。そして、記憶の中での懐かしい友達との再会で、童心に返ったような優しい気持ちで満たされたのでした。

夏休み明けの全校朝会で、「僕には鳥の言葉がわかる」（鈴木俊貴 小学館）という本の話をしました。今は東京大学で准教授をしている鈴木先生は、小さな頃から鳥が好きで、森で鳥を観察しているうちに、シジュウカラが敵であるヘビが出てきた時だけ同じ鳴き声を出すことに気が付きます。そして、鳥にも言葉があるのではないかと考え、研究を進めていきました。鈴木先生は言います。

数十万年前、僕たちの祖先がまだアフリカで暮らしていた頃は、人間も鳥の言葉を理解していたに違いない。生まれて間もない赤ちゃんを（中略）守るためにも、鳥の言葉が役に立ったはずである。

朝の玄関で、元気にさえずる鳥たちはいったい何を言っているのだろう、鳥の言葉が分かればいいのと思わずにはいられません。自然との距離が大きくなればなるほど、少しずつ失われていく感覚があるのかもしれないと、鈴木先生の言葉から思うのです。

9月、10月には、自然とかかわる校外学習がたくさん予定されています。中でも「なかよし遠足」は、6km先の「みどり森の運動公園」まで歩きます。ススキの穂が風に波打つ様子を見たり、太陽に焼けた草の匂いを嗅いだり、にぎやかに話す鳥の鳴き声を聴いたり…お弁当を味わい、手をつないで友達の手を温かさを感じたりもします。

自然の中でゆっくり過ごし、五感の全てを研ぎ澄まして、たくさんのことを感じてほしいと思います。大人になって、ある時、ふと、思い出すかもしれません。

つよく やさしく にっこにこ ～なかよし班での活動～

夏休みが終わり、なかよし班での花のお世話が再開しました。
草取りをしたり水やりをしたりしてきました。

今月は、みどりと森の運動公園になかよし遠足に出かけます。
約6kmの道のりを縦割り班で歩きます。公園では、なかよし班の友だちと一緒に遊んだり活動をしたりします。

合い言葉は「つよく やさしく にっこにこ」です。

今回は1年生から6年生まで一人ひとりが役割をもち、長い道のりをみんなで歩き、公園では楽しく会食し、遊びます。

学級を離れ、他の学年の友だちとの交流を通じて、いろいろな人と協力して達成感や楽しみを作り出す喜びを味わってきます。



班長会議の様子

協力して最高の思い出をつくる ～6年生会津修学旅行～

9月11日、12日と6年生は福島県会津方面への修学旅行を行いました。鶴ヶ城や野口英世記念館、磐梯山周辺などを訪問し会津の歴史、偉人の業績、自然の豊かさに触れ学んできました。自分たちでたてた計画による班別行動では会津市街を周遊して体験活動を行いました。体験活動では、製作活動だけでなく職人やスタッフの方に会津の特色や仕事の矜持、やりがいをインタビューしました。会津への思い、仕事のやりがいなどを生の声から知り、学びを深めることができました。



◆新潟市小学校陸上記録会西地区大会

陸上記録会に参加した選手の皆さんは6月から暑い中で放課後に一生懸命練習し、大鷲小学校の代表として頑張ってくれました。出場した選手の皆さんに心からの拍手を送ります。